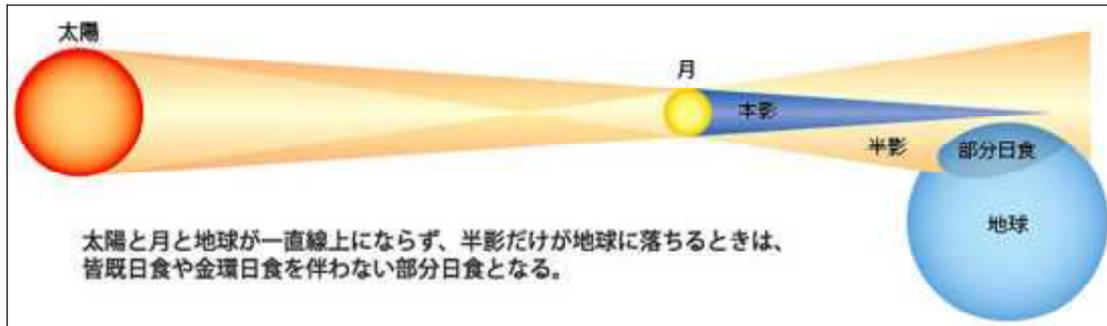


部分日食を見よう!

令和2年6月21日(日) 17:10(最大食)

1 部分日食のしくみ



太陽と月と地球が一直線上にならず、半影だけが地球に落ちるときは、皆既日食や金環日食を伴わない部分日食となる。

部分日食は、太陽～月～地球がほぼ一直線にならび、月が太陽の光をさえぎってしまう現象です。

今回は、太陽の一部をさえぎってしまうので、「部分日食」が見られます。

2 部分日食の見え方

太陽がもっともかけて見えるのは17時頃の予定です。太陽全体の半分ぐらいが、月でかくれてしまいます。



16:10 ごろ

17:10 ごろ

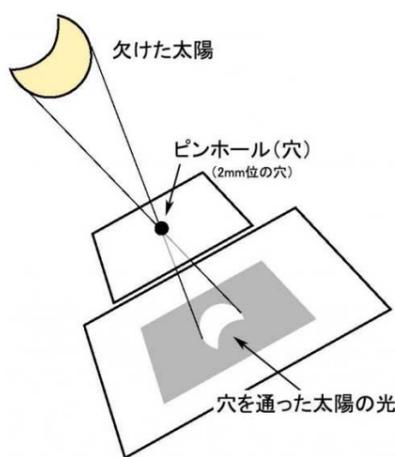
18:07 ごろ

月は、約30日で地球を1回まわります。

太陽は、1日で地球を1回まわります。

部分日食の様子を観察すると、太陽が速く動いていく様子がよく分かります。

ピンホールで観察してみよう



左図のように、太陽の光をピンホール(紙にえんぴつで穴を空ければOK)に通すと、太陽の形が見えます。同じ原理で、木のすき間を通った木漏れ日や、おたまの穴を通った光でも見えます。

太陽を直接カメラ撮影するのは難しいですが、これなら写真にも手軽に撮れますよ!

3 見るときの注意

太陽を直接見てもはいけません

太陽を直接見るときは、太陽観察用の「フィルター」を使ってください。「フィルター」を使っても、長い時間太陽を見続けてはいけません。続けて見る時間は、30秒以内にしましょう。

学校にも、いくつか「フィルター」があるので、借りたい人は小野先生に言ってください。早い者勝ちですよ!

